

社会医療法人博友会 広報誌

Hakuyukai - Dayori

博友会だより

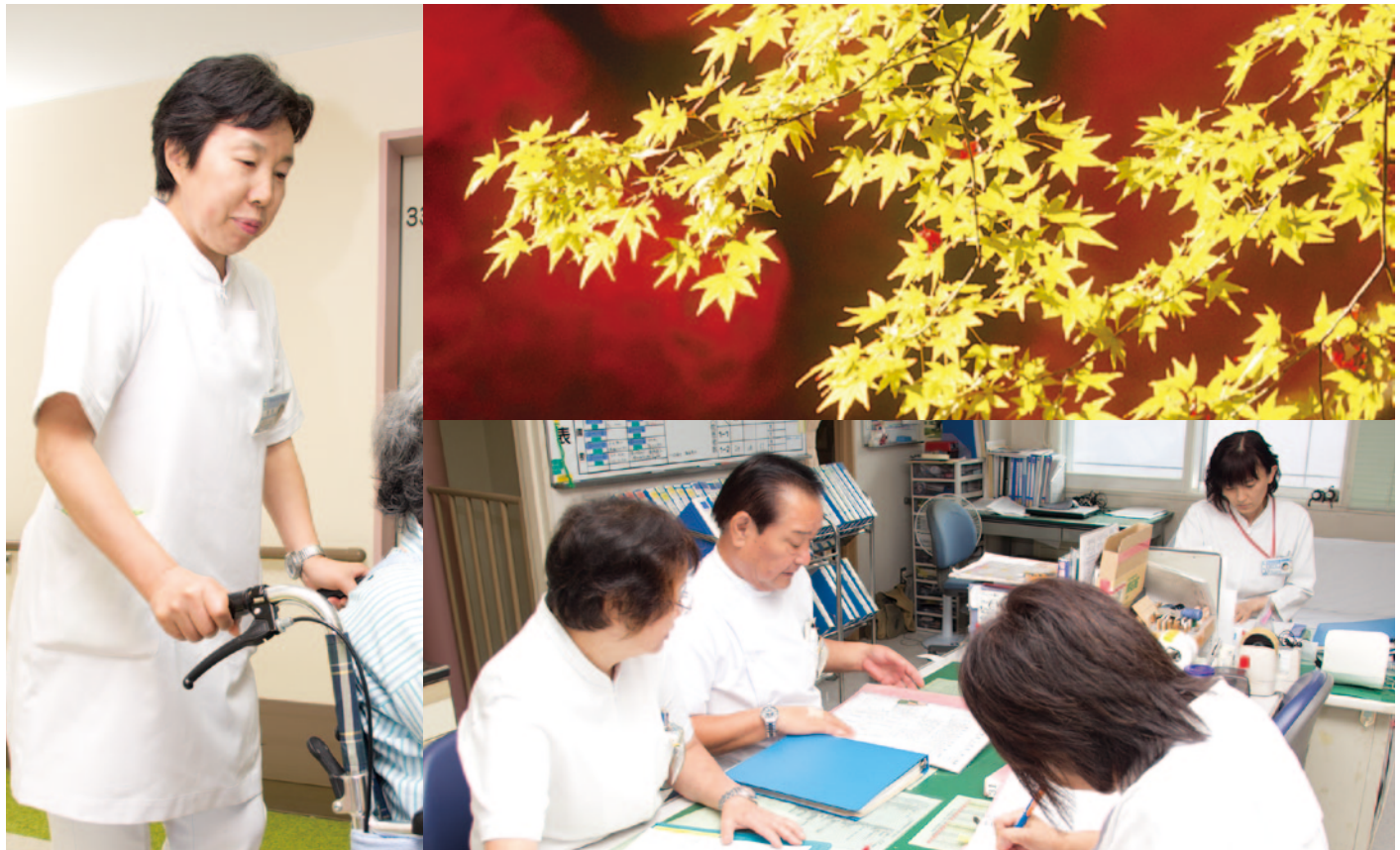
医療・看護・介護を通して地域に貢献いたします

若者に増えている 現代型うつ病

社会医療法人博友会 平岸病院 精神科 西願寺 弘通 医師

秋 [No.15]
2012年10月

ご自由に
お持ち帰りください



社会医療法人博友会は4つの施設で社会貢献しています



平岸病院

精神科・神経科・内科・神経内科・歯科・訪問看護
赤平市平岸新光町2丁目1番地
TEL: 0125-38-8331



北の峰病院

精神科・神経科
富良野市中御料2062番地
TEL: 0167-22-2011



介護老人保健施設博寿苑

入所・短期入所・通所リハビリテーション
赤平市平岸新光町2丁目4番地
TEL: 0125-37-2001



共同生活援助事業所グループホーム博友荘

入居による生活援助
赤平市平岸新光町4丁目34番地
TEL: 0125-37-2077

仕事中だけ
気分が落ち込む…

若者に増えている 現代型うつ病



最近増えているのが、比較的若い世代（20~30代）の勤労者に見受けられる新
型うつ病、あるいは現代型うつ病と呼ばれる抑うつ状態です。うつ病としての
病状は基本的に従来型うつ病と変わらないのですが、症状の現れ方、症状（病気）
の受け止め方、経過などの点で従来型うつ病とは顕著に異なる特徴があります。



社会医療法人博友会
平岸病院 精神科

西願寺 弘通 副院長

昭和 9 年 高知県佐川町生まれ
昭和 34 年 京都大学医学部卒業
昭和 49 年 平岸病院 勤務
■資格
精神保健指定医

自分を責めがちになる 従来型のうつ病

従来型うつ病は、一般に真面目、几帳面で責任感の強い人に強いストレス（思いがけない失業、近親者との別離など）が加わって発症し、生命的エネルギーの著しい停滞を来した状態と考えられます。気分は沈み、眠れず、食欲も味もなく、行事には興味が持てず面白くもなく、何をやる気も起こらず、その気が起こっても身体が動かないといった状態に陥り一人悩みます。仕事ができないことで周囲の人に迷惑をかけていることを敏感に感じ、自責的になつて悩みはさらに深まります。症状としては重症ですが、難治性のもので除けば、比較的薬も効きやすく、治りやすい病気といえます。

従来のうつ病とは 異なる症状を見せる現代病

現代型うつ病は、現代の社会を反映した「職場のうつ」です。遅刻を注意されたとか、挨拶の仕方を注意されたとか、仕事の指導の仕方が厳しいといった、職場では当然と思えることが本人にとっては大きなストレスになつて発症します。
発症後まもなく、本人が抑うつ気分や不眠、その他の抑うつ症状を訴えて精神科などを受診、そこで休職のための診断書を得て、それを職場に提出しすぐに休職します。急な休職が職場に迷惑をかけることなど考慮しませんが、逆に自分がうつ病になつた原因は、職場の上司や同僚だと思込んで彼らを厳しく責め、攻撃するようになりま

す。うつ病に関して自責的にならず、他罰的です。

現代型うつ病でさらに問題になるのは、自分の好きなことだけは自由に行動できるということです。例えば、休職中に海外旅行に出かけるなど、従来型では全く考えられないことです。

現代型の治療は従来型より困難で、治りにくいものです。それは、根本的には本人の性格や生き方と関連してくるからです。産業医学、臨床心理士など多面的対応が必要でしょう。

**若い世代に多い
現代型うつ病**

特徴

仕事中に倦怠感や虚脱感が強く現れ仕事、が手につかない、ストレス耐性が乏しい、他者を責める、趣味は楽しめる

**中年以降に多い
従来型うつ病**

特徴

抑うつ気分、思考・行動の抑制、不眠、食欲不振、自責感が強い

滝川メンタルクリニック

新築工事 進行中

現在、当法人では滝川市東町にクリニックを建設中です。5市5町の精神科医療を地域に密着した体勢で支えたいと準備を進めています。

7月に地鎮祭を行い、8月に鉄筋工事を済ませました。
 今後は、地上躯体工事、外装・設備・内装仕上げ工事へと進む予定です。平成25年1月の竣工を目指し、工事は順調に進んでいます。



7月11日に地鎮祭が行われました

8月23日 鉄筋工事



施工前の敷地



8月28日 基礎型枠



8月6日 杭打ち



10月9日 鉄骨組立



8月22日 墨出し



8月17日 掘削・切込砂利



滝川メンタルクリニック



滝川メンタルクリニック概要

所在地：滝川市東町5丁目
 敷地面積：1322㎡(400坪)
 構造：鉄骨造2階建
 延床面積：500㎡(150坪)
 施工期間：平成24年7月～平成25年1月
 総工事費：1億3000万円
 スタッフ：医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、事務員など約10人

地域の皆様の健康を多方面からサポートするために 博友会は社会医療法人となりました

博友会は、より高い公益性と良質で適切な地域医療を提供するため、平成24年9月1日に、「特定医療法人」から「社会医療法人」へと移行しました。

社会医療法人は、一般医療法人とは異なる特別な主体として位置づけられ、「公的病院の機能を代替する役割」を担います。これまで以上に高い質の医療を提供するとともに、地域の皆様の健康を多方面からサポートする新たな取り組みを進めていきたいと思います。



より公益性を求められる「特定医療法人」と「社会医療法人」

医療法人って？

病院の開設母体には、国、公的機関、社会保険関係団体、医療法人、企業、個人などがあります。

昭和39年に創設された医療法人は、「医療を担う」という公共の利益を目的に作られたため、都道府県知事の監督を受け、剰

余金の配当が禁止されています。

医療法人を開設しているのは、病院（病床数20以上）の約65%、診療所の約35%（最多は個人の約50%）で、日本の医療の根幹を支えています。

※平成21年11月末現在「医療施設動態調査」の施設数による割合

国税庁長官の承認による

特定医療法人

より公益性の高い医療法人を作るため、平成10年に「特定医療法人」が制度化されました。「医療の普及および向上、社会福祉への貢献に著しく寄与し、公的に運営されている」と認められた医療法人が、国税庁長官の承認を受けて特定医療法人へと移行しました。法人税率が優遇され、効率的に医療提供を行うことができます。

都道府県知事の認可による

社会医療法人

平成19年の第5次医療法改正で、医療法人の新たな区分として、「社会医療法人制度」が創設されました。「救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児救急医療、精神救急医療などを1つ以上実施し、公的な運営が確保されている」と認められた医療法人が、都道府県知事の認可を受けたもので、「公的病院の機能を代替する

役割」を担います。今まで規制を受けていた、医療や福祉

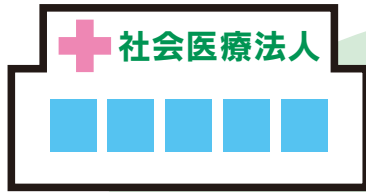
に関するさまざまなサービスの実施も可能になります。

認可後は、さらなる公益性・透明性が求められる代わりに、経営の安定性を支援するために、医療保険業に対しては非課税に、収益事業に対しては法人税率が優遇されます。

医療法人の種別によって可能な業務が異なります

社会医療法人は、一般・特定・特別医療法人が行える業務に加え、ケアハウスや知的障害者施設の運営などの社会福祉事業を行うことができます

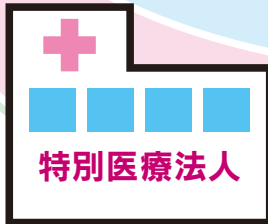
博友会は
ここに
属します



- ケアハウス、知的障害者施設、保育所、デイサービスセンターなどの運営



- 病院・診療所・老健施設などの運営
- 在宅介護支援センター、訪問看護ステーションなどの運営
- 院内の売店、患者用駐車場などの運営



- 医療介護用品の販売、一般駐車場の経営など

※特別医療法人は平成24年3月31日で廃止になりました

社会医療法人は 医療法人全体の0.4%以下

平成24年7月1日現在、社会医療法人に承認されているのは全国で168法人。道内では19の法人が認可されています。



平成24年3月31日現在、全国の医療法人は47,825法人（北海道は2,436法人）

博友会 社会医療法人への道

博友会の始まりは、昭和28年11月に開設した平岸病院です。戦時中に赤平の企業が設立した診療所を、有志が競売で落札し、開院しました。

その後、地域医療を担う病院を目指すため、昭和43年に「医療法人」としての認可を受け、医療法人博友会が誕生しました。

「地域医療を本格的に担い、地域で必要とされる医療を効率的に提供する機関」としての役割を果たすため、平成12年4月には「特定医療法人」へ移行。社会医療法人制度の施行に伴い、平成24年9月1日に「社会医療法人」へと移行し、新たな一歩を踏み出しました。

博友会物語 特別編

年表で振り返る 博友会の歴史

「無医村にしてはならぬ」

診療所再開から、もうじき60年

第2次世界大戦中、愛国第83工場として海軍の指揮下にあった日本油化工業株式会社空知工場内に「平岸工場診療所」が開設されました。

ところが終戦とともに、建設半ばだった工場は閉鎖され、豆炭やレンガを製造する北海道炭素工場として操業。診療所は北海道大学から医師の派遣を受けて診療を継続しますが、昭和28年夏に閉院となります。

当時、工場の従業員であり薬剤師だった郡正辞氏らが「無医村にしてはならぬ」と診療所取得と医師派遣のために奔走。同年11月2日に「平岸診療所」として診療を再開しました。その3年後、診療所は平岸病院に。その後も、地域医療を支え続け、平成25年6月に開院60周年を迎えます。

年月	沿革	病床数
昭和28年11月	平岸診療所（一般科・精神神経科）診療再開 板垣二郎が院長に就任	平岸病院 北の峰病院
31年6月	診療所閉鎖・平岸病院（内科・精神神経科）開院 院長に志田伝が就任	49床
31年9月	富良野診療所開設	
40年3月	平岸病院院長に谷博が就任	
41年10月	平岸病院第1期工事	173床
43年4月	法人設立認可を受け、医療法人社団に	
43年3月	平岸病院第2期工事	226床
44年9月	平岸病院第3期工事	306床
47年6月	平岸病院第4期工事 精神病床309床、内科42床	351床
47年10月	平岸病院に歯科併設	
55年7月	北の峰病院開院、院長に五十嵐邦彦が就任	120床
平成3年5月	介護老人保健施設博寿苑開設	
11年4月	医療法人社団博友会理事長に谷博が就任 平岸病院院長に郡正博が就任	
12年4月	特定医療法人に移行	
15年4月	平岸病院に療養病棟開設し、 精神病床305床・一般病床21床・療養病床21床に 博寿苑が隣接地に新築移転 旧施設は、平岸病院の病棟に改修し19床増床、 精神病床324床・一般病床42床に 北の峰病院を増築し、50床増床	347床
17年6月	博寿苑が隣接地に新築移転 旧施設は、平岸病院の病棟に改修し19床増床、 精神病床324床・一般病床42床に 北の峰病院を増築し、50床増床	366床 170床
18年6月	平岸クリニック開院（平成24年3月閉院） 精神障害者社会復帰施設福祉ホーム博友荘開設	
24年9月	社会医療法人に移行	
25年1月	滝川メンタルクリニック開院予定	

